



美しい農山村の景観保全をめざして！！

去る7月16日に、かん町棚田の草刈り作業を行いました。守る会の委員に土地所有者の親戚を加えた12名で、夕方時間帯に行いました。昨年度より継続している活動ですが、参加者の熱心な作業で棚田の景観が見違えるよう美しくなりました。かん町の棚田は伝建地区の範囲内にあり、環境物件としての高い文化的価値を有する石積にも注目が集まっています。守る会では休耕田の復元にも努め、農地の景観保全の継続をお願いしていますが、マスタープランの問題点にも農地の保全の難しさが指摘されてきました。しかし、多くの方々のご先祖様から引き継いだ農地を大切に、世界遺産としての農山村の景観を守ろうとがんばってくださっているから今があるのです。努力されてみえる方々に感謝のエールをおくとともに、役場当局、合掌財団、観光協会等各種団体と協力しながら、地産地消につながる方策、作ったお米や作物が売れる喜び、食べた方からおいしいと評価していただける楽しみにつながる道を探っていきたいと考えています。荻町住民のご理解ご協力をお願い申し上げます。 [文責：根尾]



[よみがえった棚田の景観と合掌造り！！]

世界遺産白川郷の生活文化や自然環境に感動しました！！

～ C B Cふるさと市民エコジャーナリスト養成講座より～

8月1日からの3日間、荻町集落をフィールドに見出しの講座が開催されました。これは中部日本放送（C B C）が社会貢献活動として行っている事業の一環で、今回は応募者から抽選で選ばれた中部圏内の7組の家族と地元白川小6年の希望者2名が参加し、守る会有志の協力で開催されました。その活動の様子について、以下に報告いたします。

なぜ白川郷で？！・・・本講座の企画者は、5年前に放映されたC B C地デジ開局記念番組「ふるさと世界遺産白川郷」の製作者で、1年間の取材活動で感じた白川の四季の素晴らしさや住民子どもたちの活動に共感し、講座の第1回の開催場所に白川郷を選んでくださいました。その活動目的は、C B Cエコ活動として、一般市民の方々に白川郷の美しい自然や景観を守る住民の様子を知っていただき、その現状を参加者の目線で記録し発信する体験を通して、自然環境への関心を高めていくことにあります。参加者は白川で学んだ知識や体験を活かして、それぞれの地域にもどって、さらに地元の取材活動を進めていく予定です。

白川の自然・生活・文化を学ぼう！！・・・第1日目は、参加者に白川のよさを知っていただくために、守る会有志（和田）による講話を行いました。白川郷の四季や冬の暮らし、世界遺産って何？、合掌家屋を守る結の大切さ、農山村の景観を守る努力、先人より受け継がれた文化の伝承、世界遺産の永続的な継承にむけた住民の努力等について語りました。小学生にはやや難しい話ではありましたが、参加されたお父さんお母さんには白川郷の自然の素晴らしさやその中で生活する住民に共感いただけたように感じました。引き続き主催者側より、映像での発信方法や新聞での効果的な表現方法の基礎を学び、フィ



[旧松井家を会場にして学ぶ参加者]

ールドワークに出かけました。夜の交流会には守る会板並会長も参加し、白川郷クイズや環境クイズを一緒に楽しんだ後に、蛍の鑑賞に出かけました。

フィールドワーク&新聞づくり！！・・・2日目は、自分が決めたテーマにむけての取材活動です。朝方はあいにくの大雨でしたが、その時間を活用して板並会長や和田と懇談し、テーマの絞り込みや質問、取材場所の情報を得ることができたようです。雨があがるとともに、それぞれが荻町集落へと分散し聞き取り調査や写真撮影を積極的に行っていました。午後になり、取材が終わった家族から新聞づくりに取り組みました。明日の発表にむけて、親子で楽しみながら新聞づくりに取り組んでいる姿がとても微笑ましく印象的でした。



[会長に景観を守る努力をインタビュー]

白川郷の感動を発信！！・・・3日目最終日は、出来上がった作品の発表交流会です。それぞれの新聞には「世界遺産白川郷を考える」「守ろう美しい水路」「白川郷の森・木と土と水」「自然の家合掌造り」「白川郷・家が人を守り、人が家を守る」「結の心合掌造りと恵みの水」「合掌造りを通して見えてきたもの」といった見出しが見られました。内容も子どもの目線や親らしい見方からまとめられたものばかりで、白川郷の自然の素晴らしさや、そこに住む人々の努力、白川だからこそ生まれ育まれた合掌文化をみごとに表現し発信したものが多かった。たった3日間（実質1日）の取材活動でここまでまとめ上げた参加者の意欲と能力に敬意を表するとともに、手前味噌かもしれませんが、参加者にここまでの共感と感動を与えた白川郷が内在する世界遺産としての素晴らしさと、住民が力を合わせてそれらを永続的に守り続ける強い意志と誇りをもつことの大切さを、参加者のまなざしを通して学ばせていただいたように感じています。



[参加者がまとめ上げた作品！！]

最後に、このような素晴らしい企画を提供くださいましたCBC総務局広報部長後藤克幸氏をはじめとする関係者の皆様、参加者されたご家族や取材に応じてくださいました住民の皆さん、白川小6年の2人に感謝の意を表し報告のまとめとさせていただきます。

[文責：和田]

守る会の活動指針（国際フォーラム白川郷宣言より）

- (1) 隣人にやさしい心豊かで安全な共同生活のいっそうの充実
- (2) かけがえのない美しい文化遺産の保全と未来への確かな継承
- (3) 国内外の人々との文化交流を通して友好の輪の拡大

= 7月の活動報告 =

- 7月 1日 合掌財団視察研修（石見銀山・広島原爆ドーム）～3日
- 7月 7日 拡大役員会
- 7月 8日 マスタープラン住民説明会（西上組）
- 7月 9日 村在住伝建審議会委員会議
- 7月 10日 7月定例会（17名）
- 7月 16日 かん町棚田草刈り作業
- 7月 19日 村伝建審議会 旧松井家・寺口家管理運営委員会
- 7月 20日 村伝建保存対策協議会
- 7月 29日 荻町交通対策委員会

= 区民の皆様へ =

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんの理解とご協力をお願いいたします。（次回定例会は9月10日を予定しています。）

8月の協議事項（現状変更申請に関わって）

****・・・2階窓サッシ取り替え・木製手摺取り付け

****・・・雨戸の取り付け

合掌財団の「H21年度整備事業要望書」「水田石積修復要望アンケート調査」が、守る会各組委員より配付・回覧されます。よくお読みいただき、今月中に各組委員に提出をお願いいたします（不明な点は合掌財団、下目氏・松本氏へ）。